



余土地区まちづくり通信Vol111

令和2年5月1日発行

〒790-0044松山市余戸東4-4-34

☎090-8979-4101

HP:www.yodo-machikyou-net

メール：yodom4010@gmail.com

余土地区まちづくり協議会 令和2年度総会中止～書面承認～

余土地区まちづくり協議会では、5月26日（火）に令和2年度総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により総会は中止し、書面議決によることとなりました。

つきましては、代議員の皆様には総会資料を郵送のうえ同封の書面表決書にて回答いただくこととなりますのでよろしくお願いいたします。



緑のカーテン運動「ゴーヤの苗の配布」中止！！

5月21日（木）に予定していました「ゴーヤの苗の配布」は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、配布を中止することになりましたのでお知らせいたします。

なお、毎年8月～9月に実施しています「我が家の緑のカーテン【フォトコンテスト】」は、各家庭で独自で育てられた「ゴーヤ」を撮影していただき実施する予定です。

余土の史跡めぐり①

手引きの松（三島大明神社：余戸東）

余戸東にある三島大明神社境内には、かつて二本の松の木が地上五メートルほどのところでH型に繋がった「手引きの松」呼ばれる松がありました。

これは、枝ががっちり手をつないで、手を引き合った姿に見えるところから、いつとはなく「手引きの松」と呼ばれるようになったもので、余戸の象徴として広く人々に親しまれてきました。

樹齢は推定200年くらいで、学術的にも貴重なものとされ、昭和37年（1962年）に松山市の天然記念物に指定されましたが、昭和54年（1979年）秋、松くい虫の被害のため枯れてしまい、9月18日に伐採され、現在は、そのH状の部分だけが保存されています。



《「手引きの松」の伝説》

その昔、どこからか2羽の姉妹の鶴が飛んできて、境内の松の木にせっせと巣を作り始めた。村人たちは何か良いことが起こる知らせではないかと、2羽の鶴を見守っていた。ところが、ある日の夕方、姉鶴だけが悲しい鳴き声をたてて帰ってきた。しばらくすると、か細い足に羽を痛めた妹鶴を抱き抱えるようにして帰ってきた。が、息もたえだえに神社近くの畑に落ちてしまった。それを見ていた村人たちは、駆け寄って水を飲ませたり、傷の手当てをしたりして、妹鶴を畑につかせ休ませた。そして、小魚などのえさを運んでは早く治るように祈った。

村人の介抱の甲斐があって、10日もすると、また2羽の鶴は仲良く真っ白い羽根を広げて元気のよい美しい舞を見せるようになった。

やがて、石鎚の山並みの雪も解けかけるころ、姉妹鶴はお宮の上を何回も何回も名残惜しげに飛び交うと、羽根をそろえてどこともなく飛び立っていった。

その後、村人が三島大明神社の境内に行ってみると、ちょうど巣のあったところの松の枝が、隣の松の枝と手を握り合うように結ばれているのを見つけた。まるで2羽の鶴が、いつまでも決して離れまいとして手を引き合うかのように、だれの目にも見えた。



◆まちづくり文庫 4月新刊のお知らせ◆

余土公民館の「まちづくり文庫」に下記の図書を購入しました。余土公民館図書室では、毎週月曜日と金曜日の10時から12時に開館し、図書の貸出（貸出期間：2週間）を行っていますのでご利用ください。

図書名（著者名）	図書名（著者名）	図書名（著者名）
音に聞く（高尾長良）	テッドライン（千葉雅也）	最高の任務（乗代雄介）
背高泡立草（古川真人）	嘘と正典（小川 哲）	あつけらかん（野口 卓）
スワン（呉 勝浩）	背中の蜘蛛（菅田哲也）	八月のひかり（中島信子）
決定版 一億人の俳句入門（長谷川権）	祝祭と予感（恩田 陸）	老人初心者の覚悟（阿川佐和子）
黒武御神火御殿（宮部みゆき）	結婚の奴（能町みね子）	サル化する世界（内田 樹）
ちびちっち（ステファニー・ブレイク）	本屋を守れ（藤原正彦）	
おひとりさまのケチじょうず（小笠原洋子）	あなたがおおきくなるひまで（ケイト・バンクス）	
あやうく一生懸命生きるところだった（ハ・ワン）	だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ（安房直子）	

4月の新刊から ～書評紹介～



☆「背高泡立草」☆（古川真人 著）

第162回芥川賞受賞作品。草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから。記憶と歴史が結びついた、著者新境地。

大村奈美は、母の実家・吉川家の納屋の草刈りをするために、母、伯母、従姉妹とともに福岡から長崎の島に向かう。吉川家には<古か家>と<新しい方の家>があるが、祖母が亡くなり、いずれも空き家になっていた。奈美は二つの家に関して、伯父や祖母の姉に話を聞く。吉川家は<新しい方の家>が建っている場所で戦前は酒屋をしていたが、戦中に統制が厳しくなって廃業し、満州に行く同じ集落の者から家を買って移り住んだという。それが<古い家>だった。島にはいつの時代も、海の向こうに出ていく者や、海からやってくる者があった。江戸時代には捕鯨が盛んで蝦夷でも漁をした者がおり、戦後には古郷の朝鮮に帰ろうとして船が難破し島の漁師に救助された人々がいた。時代が下がって、カヌーに乗って鹿児島からやってきたという少年が現れたこともあった。草に埋もれた納屋を見ながら奈美は、吉川の者たちと二つの家に流れた時間、これから流れるだろう時間を思うのだった。

☆「老人初心者の覚悟」☆（阿川佐和子 著）

老人若葉マークの踏んだり蹴ったり…だからなんだ！「高齢者」の仲間入りをしたアガワが、ときに強気に、ときに弱気に、老人と格闘する日々を綴る。「捨てる女」「比較の力」など全42編を収録。『婦人公論』連載を書籍化。『いい女、ふだんブツ散らかしており』につづく、『婦人公論』好評連載の書籍化第二弾。65歳、高齢者の仲間入りをしてからの、身の回り、体調、容姿、心境の変化を綴る。多彩な抽斗と表現で、自らの過去と現在を赤裸々に書き尽くした、極上のエッセイ集。

☆「祝祭と予感」☆（恩田 陸 著）

恩田陸著の大ベストセラー「蜜蜂と遠雷」、待望のスピノフ短編小説集！

大好きな仲間たちの、知らなかった秘密。入賞者ツアーのはざままで亜夜とマサルとなぜか塵が二人のピアノの恩師・綿貫先生の墓参りをする「祝祭と掃苔」。芳々江国際ピアノコンクールの審査員ナサニエルと三枝子の若き日の衝撃的な出会いとその後を描いた「獅子と芍薬」。作曲家・菱沼忠明が課題曲「春と修羅」を作るきっかけになった忘れ得ぬ一人の教え子の追憶「袈裟と鞆」。ジュリアード音楽院ブレ・カレッジ時代のマサルの意外な一面「竖琴と葦笛」。楽器選びに悩むヴィオラ奏者・奏へ天啓を伝える「鈴蘭と階段」。巨匠ホフマンが幼い塵と初めて出会った永遠のような瞬間「伝説と予感」。全6編。



4月16日付で松山市長から新型コロナウイルスの感染拡大防止について、市民・関係団体等の皆様に対して出されましたのでお知らせします。

松山市内での新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためのお願い

令和2年4月16日 松山市長 野志克仁

1 不要不急の行動自粛等について

(1) 「うつらないよう自己防衛」

- ・ 自分自身の安全は、まずは自らで守っていただくことが重要です。
- ・ 一人ひとりの体調管理をしっかり行うとともに、「手洗いの励行」などの基本的な感染予防対策を徹底して行うこと。
- ・ 「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話を発する密接場所」のいわゆる「3つの密」の条件が重なる場を徹底的に回避すること。
- ・ 特に、「3密」の条件が重なる場のうち、全国でクラスターが多数発生している「繁華街の接客を伴う飲食店等」への外出については、年齢等を問わず、全ての市民の皆様が、徹底して自粛すること。

(2) 「うつさないよう周りに配慮」

- ・ できる限りマスクを着用するほか、マスク入手が困難な場合でも、咳エチケットを徹底すること。人と接するときにもしっかりと距離をとって会話等を行うとともに自ら「3密」となるような機会を作らないこと。
- ・ 感染拡大地域に居住し、現に松山に戻っている方や、「繁華街の接客を伴う飲食店等」へ外出した方は、「もしかしたら感染しているかもしれない」との意識のもと、2週間は不特定多数との接触を控える、近い距離で人と話すのを避けるなど、感染予防のための意識を強く持つこと。

(3) 不要不急の外出自粛

- ・ 緊急事態宣言の対象地域では、外出自粛要請や、休業要請がなされていますので、こうした状況で感染拡大地域へ訪問することは、できる限り自粛すること。
- ・ 感染拡大地域へ訪問する場合には、不特定多数との接触を控えるとともに、ご自宅に戻った後、基本的な感染予防や、体調不良の場合の外出を自粛すること。
- ・ 仕事や日常生活に支障がない限り、ご自宅で過ごしていただくこと。
- ・ やむを得ず外出する場合も、最低限の生活必需品の購入や、必要な医療機関への受診などに限ること。
※不安になって医療機関に殺到したり、買い物に押し寄せたりすると、そこで感染が拡大する恐れがあることから、くれぐれも気をつけてください。

(4) 正しい情報に基づいて行動していただくこと。

- ・ 37.5度以上の発熱が4日以上続くなどの症状のある場合には、帰国者・接触者相談センターに相談していただくこと。
- ・ 物資不足等の根拠のない情報に基づく行動はしないこと。
- ・ 県や市の情報に基づき冷静に落ち着いて行動すること。
- ・ 入院患者を受け入れる感染症病床については、院内感染対策を十分に行っており、感染の恐れはないため、一般の方も安心して受診していただくこと。

(5) 高齢者施設や医療機関への訪問・面会を自粛していただくこと。

- ・ 重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある方の感染を防ぐため、高齢者施設や医療機関への訪問及び面会については、くれぐれも自粛すること。



余土地区の桜満開

今年は、「新型コロナウイルス感染の拡大予防対策」でお花見が自粛されたことから、満開の桜の下での宴会を自粛された方も多くいられたのではないのでしょうか。しかし、今年も余土地域にある公園の桜は見事な花をみせてくれました。この紙面で桜をご紹介します。



さくら公園



保免上分館



さくら小学校



新開公園



余戸西緑地



松山中央公園



保免中分館



余戸南センター



竹の宮公園